

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」の推進

～客観的根拠に基づく合理的な政策決定のための科学～

平成25年度概算要求額 : 986百万円
(平成24年度予算額 : 757百万円)

※運営費交付金分を除く

事業全体の目標

- 様々な社会的課題のうち、科学技術イノベーション政策によって解決すべき課題を科学的な視野から発見・発掘すること。
- 政策課題を同定し、経済的・社会的影響分析を盛り込んで選択可能な複数の政策オプションを立案すること。
- 立案された政策オプションを適切に選択・決定・実施することにより、政策課題の解決を目指すこと。



57 百万円
(87 百万円)
【本省】

文部科学省 推進委員会

事業全体の進め方検討
事業全体に関する
調査分析の実施



政策課題対応型調査研究の推進

研究開発投資の経済的、社会的波及
効果に関する総合的な調査・分析

62 百万円
(107 百万円)
【NISTEP】



公募型研究開発プログラムの推進

中長期で政策形成に寄与しうる分析手法、
指標開発等の研究開発を公募により推進

JST運営費
交付金の一部
【JST/RISTEX】



データ・情報基盤の構築

政策形成や調査・分析・研究に活用しう
るデータや情報を体系的・継続的に蓄積

160 百万円
(173 百万円)
【本省・NISTEP】



基盤的研究・人材育成拠点の形成

- ・大学院を中核とした国際水準の拠点を構築
- ・拠点間共同プログラムの開発及び展開

330 百万円
(390 百万円)
【本省】

SciREX政策形成実践プログラム（仮称）

(SciREX : *Science for RE*-designing *Science, Technology and Innovation Policy*)

平成25年度概算要求額 : 378百万円
(新規)

事業の狙い

- 「政策のための科学」で設定されている事業全体の目標(政策オプションの立案等)達成に向けて、政策形成プロセスの各要素を一貫して実践し、実際の政策形成に活かすとともに政策課題の解決を目指すこと。
- 既存の各プログラム等で産出される成果を実際に政策形成に活かすための仕組み作りを行うこと。

「政策オプション」とは：

政策課題の解決に向けて、「取り得る政策」とその「経済的・社会的影響・効果の定量的・定性的な分析の結果」から構成されるものであり、複数の選択肢によって示される。

政策ビジョン 科学技術イノベーションによる持続性社会の実現

政策オプション

経済的・社会的
影響・効果の分析

「取り得る政策」：様々な階層の「政策手段」から複数の「政策手段」を選択してつなぎ合わせたもの

具体的な「政策課題」の例※：(※) 具体的な「政策課題」の設定にあたっては、平成24年度中に精査

- グリーンイノベ：太陽光を利用した革新的技術等による安定したエネルギー需給構造の実現
- ライフイノベ：革新的な診断・治療技術と予知予防技術による高齢者の健康増進社会の実現
- 横断的事項：我が国においてより優れたイノベーションを生み出すための人材システムの構築

平成24年度に詳細な検討を実施するとともに、25年度より複数の政策課題を選定し、具体的な政策オプションの作成を実践

実施体制のイメージ

SciREX政策形成 実践運営センター(仮称)

センター長：〇〇 〇〇

- ・ センターは、事務局機能を担うとともに、俯瞰検討チーム内及びチーム間の連携・協働作業を主導
- ・ センター長の指揮の下、行政官とともに専門知識を有する政策科学調査官が作業・調整を実施

◇◇◇◇
俯瞰検討チーム

△△△△
俯瞰検討チーム

...

政策オプションの作成に必要な客観的根拠 (エビデンス)のイメージ

定量的な分析

経済モデル 産業連関分析
費用便益分析

定性的な分析

国民QOL 社会受容性
将来シナリオライティング

定量的・定性的な分析を支えるデータ・情報

収集・作成・改変・加工・集積・体系化

様々なデータや情報

論文・特許DB 産業動態DB 等
NISTEPデータ情報基盤、CRDS科学技術俯瞰図等が貢献

様々な指標や分析手法
RISTEX個別課題や拠点等の大学等が貢献